

1.1 マルチプロジェクト研究機構の活動

(1) 地域共創・人材育成研究所

- ・平成 28 年度「地域共創コーディネーター養成プログラム」の評価手法の検討とプログラム評価実施

① 平成 28 年度春学期開講の大学院科目「共創の技法」の開催

日時：平成 28 年 4 月 16 日（土）、5 月 14 日（土）、6 月 11 日（土）、
7 月 9 日（土）、7 月 30 日（土）
10：40～16：10（1 講義につき、90 分×3 講座）

会場：東北公益文科大学 鶴岡キャンパス 大学院ホールおよび中教室

講師：加留部貴行氏、伊藤眞知子教授、武田真理子教授

② ボランティアコーディネーション研修（認定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会と共催・ボランティアコーディネーション力 3 級検定を含む）

③ フォローアップを経て、修了証書を発行

上記、①～③のプログラムを 2016 年 4 月から 2017 年 1 月まで実施し、33 名中 32 名が修了した。プログラム実施過程において、評価のためのデータ（個人の達成目標、目標の達成度、実施後アンケート、振り返りシート等）の収集を行った。

(2) 庄内・地域デザイン研究所

- ・連続講座「内川学 8×地域デザインプロジェクト 内川からまちを構想する」の開催

日時：平成 29 年 3 月 5 日（日）13：30～16：00

会場：東北公益文科大学 鶴岡キャンパス 大学院ホール

研究発表：「内川の植物」 水野重紀（鶴岡自然調査会）

「よみがえった和舟」 渡部正芳（鶴岡舟番所会長）

「内川の水質について」 小谷卓（鶴岡工業高等専門学校）

まちづくりパネルディスカッション：

鶴岡商工会議所副会頭 國井英夫

山形県建設業協会鶴岡支部長 佐藤友和

エビスヤプロジェクト代表 北風秀明

鶴岡市建設部長 渡会悟

庄内・地域デザイン研究所 高谷時彦

(3) ニュージーランド研究所

- ・東北公益文科大学ニュージーランド研究所 15 周年記念講演会の開催

「公益大とニュージーランド（研究）

—建学の理念＜東北から俯瞰せよ＞を目標に一」

日時：平成 28 年 11 月 3 日（木・祝）14：00～16：00

場所：東北公益文科大学 酒田キャンパス 教育研究棟 3 階・大教室

講師：小松隆二氏（東北公益文科大学初代学長）

内容：小松隆二先生とニュージーランドとの出会い、ニュージーランド研究の内容とこれからの可能性、公益学とニュージーランド。

(4)新規受託研究等

○ 庄内・地域デザイン研究所

【手向街まちづくり協定支援等業務委託】

研究目的：手向地区内の集落を訪問し手向門前町のまち並み景観維持の重要性や街づくり協定案の内容説明を行って協定締結を円滑に行う為の作業を担ったほか、誘導・案内看板の設置計画の作成や住民ワークショップでの助言・指導を行った。

○ とびしま未来研究所

【飛島における津波堆積物の調査及びその活用について】

研究目的：飛島の災害遺構を確認し、鳥海山・飛島ジオパークにおける利活用と保存手法についてまとめた。

○ 地域イノベーション研究所

平成 29 年度庄内銀行ふるさと振興基金へ「住民本位の行政サービスを実現するための人材育成」で申請（結果は平成 29 年 4 月予定）。